



第10回 CAF フラメンコ・コンクール開催

記念すべき第10回目のコンクールが、年明けに開催されます。節目の年となる今回、これまでにない新たな試みも実施しますので、皆さま、どうぞご期待下さい！

●記念すべき10回目を迎えるにあたって

今回で第10回目を迎えるCAFフラメンコ・コンクールが、東京・北千住のTheatre1010にて開催されます。今回は、ビデオ審査による一次審査を通過した30名が、1月27日(日)の二次予選に参加し、3月2日(土)に開催される本選には、二次予選参加者のうち上位10名が進む予定となっております。

例年通り、コンクール優勝者と準優勝者にはスペイン研修の為の賞金とスペイン往復航空券が授与されますが、これに加え、スペインへの長期留学を希望する参加者の方の中から、現地の舞踊学校で学ぶための留学資格、及び滞在補助費にスペイン往復航空券を授与する「海外留学賞」を選出する運びとなっております。

また、本選のエキシビジョンでは、海外での研修を終えて帰国した、前々回優勝者の里有光子さん、カンテ・デ・ラス・ミナス賞を受賞して現地のコンクールに出場し、その後、文化庁の新進芸術家海外研修生として現地で学んできた田村陽子さんに加え、財団設立10周年記念公演の際にもご来日いただき、好評を博したアンドイツ・ルイバル氏を招聘することとなりました。スペインで研鑽を積み、実力を磨いてきたお2人と実力派バイラオールのアンドイツ氏によって繰り広げられる舞台。こちらについても楽しみにしていただければと思います。

●フラメンコを学ぶ学生の為の支援企画

当財団は、フラメンコを学ぶ学生の方々を応援すべく、今回、二次予選に学生の方を無料招待することにいたしました



した。HPより事前にお申込みいただき、当日、学生証をお持ちいただいた方は、2階席にて二次予選を無料でご観覧いただけます。先着200名となっておりますので、ご希望の方はお早めにお申込み下さい。また、当財団スタジオ「Casa del arte」にて、小学生以上大学生以下を対象とした無料フラメンコ教室も開催中です。養護施設の子ども達向けに開始した慈善事業ですが、より多くのお子さんにフラメンコを楽しんで頂き、その魅力を知って頂こうと、現在一般の方も受け付けております。ご興味のある方はお気軽にお問い合わせ下さい。

コンクール情報詳細

■二次予選

2019年1月27日(日) 15:30開演
入場料：2,000円(全席自由)
※事前申込みにより、学生無料

■本選

2019年3月2日(土) 16:00開演
入場料：4,000円(全席指定)

■会場

東京・北千住 Theatre1010 (シアターセンジュ)
※予選・本選共に、同会場

■チケットお取り扱い・お問い合わせ

公益財団法人スペイン舞踊振興 MARUWA 財団
Tel. 03-5419-6513 E-mail info@mwf.or.jp
URL http://www.mwf.or.jp/

●●● フラメンコ・ワークショップ報告 ●●●

財団主催のワークショップが今年も開催されました。

昨年は名古屋のみでの開催でしたが、名古屋以外でも実施してほしい、という皆様からのご要望にお応えし、今年春には東京でもクラスを開講しました。

3月に行われた東京ワークショップで講師をお願いしたのは、マドリード出身の舞踊家、モニカ・イグレスィアス氏。デビュー以来、世界各国での公演等、第一線の現場で活躍し、2018年のカンテ・デ・ラス・ミナスでも第1位の栄冠に輝いた実力派の彼女に、昼クラス（上級）では得意のカーニャを、夜クラス（中級）ではタンゴ・デ・トゥリアーナを振り付けて頂き、好評を博しました。

また、例年8月に開催している名古屋ワークショップでは、参加者の方からご希望の多かった、セビージャ出身の人気舞踊家、アデラ・カンバージョ氏を招聘。昼クラス（上級）のティエント、夜クラス（中級）のアレグリアス

とも、ほぼ満員の盛況ぶりとなりました。

今後も、本物のアルテを学べる機会を設けていきたいと思っておりますので、皆様、どうぞ奮ってご参加下さい。



レッスンを終え、アデラ・カンバージョ氏を囲む、名古屋・夜クラスの生徒たち。

平成29年度 助成作品 報告

平成29年度の助成作品を上演された青木愛子さんと里有光子さんより、公演のご感想をいただきました。

「青木愛子スペイン舞踊30周年記念公演 Relicario」

青木 愛子



(撮影者：大森 有起)

応援して下さいる沢山の方々のご協力、ご助力あっての30年であり、30周年記念公演だったと成し遂げてみて改めて思いました。スペイン舞踊を続けてきての軌跡を、踊り・作品を通して皆様にお見せ出来たのではないかと感じております。

2回目の共演となるアンヘル・ムニョス、ホセ・アンヘル・カルモナ、ラファエル・モンテレージャと、日本人キャストのヴォダルト・クララ、田尻希絵、三木重人と、息の合った信頼のおけるメンバーとの稽古から本番までの時間は、とてもアットホームで楽しいものでした。そして今回、昨年末よりこの公演のための振付けに参加していただいたサラ・カレーロ、ミゲル・アンヘル・エスピーノにも大変感謝しております。

スペイン舞踊を通じて素晴らしいアーティスト達と出会う事が出来、そして素晴らしい時間を共有出来た事を今後の活動の糧として、フラメンコに留まらず精進して参ります。改めて、この公演に関わって下さったスタッフの皆様、ご来場くださいました皆様に、心から感謝申し上げます。

「祈りのとき。」

里 有光子

去る2月11日、冬の晴れ間の中で吉祥寺スターパインズカフェにて『祈りのとき。』公演を無事に終演することができました。

熊本在住のフラワーアーティスト小山賢作と、そしてマニキュレーターYoshihiroyonishiの創る音楽とのコラボレーションという初めてづくしの公演で、紆余曲折がありましたが、蓋をあけてみると全てが収まるどころにしっかり収まった、そんな公演になったと思います。

呼吸・根源・フラメンコ、そして自分自身。全てが『祈り』に通じているんじゃないか、など、取り留めもない思考を形にすること。こんな大冒険とも思える公演ができたのも、長谷川暖、ディエゴ・ゴメスという信頼できるミュージシャンの存在、私のやりたい事を真摯にこみ取ってくれたNobu、そして MARUWA

財団の助成があったからこそだと思います。また、この公演に立ち会ってくれた全てのお客様、応援してくれた皆様、本当にありがとうございます。まだ小さな子供達が1時間強の舞台を飽きずに観てくれたことは、今後舞台を創作する上で大変大きな自信になりました。反省はもちろん沢山ありますが、この公演を糧にますます自分のフラメンコ道を見つけ、前に進んでいきたいと思っております。これからも応援いただければ嬉しいです！ がんばります！



(撮影者：川尻 敏晴)

平成30年度 助成作品 報告

平成30年度の助成作品は、DANZARTE スペイン舞踊団さん（代表：谷淑江）の「El sombrero de tres picos ～三角帽子～」(助成金額：120万円)、AMI フラメンコスタジオさん（代表：AMI）の「AMI フラメンコリサイタル公演 Mensaje ～伝言～」(助成金額：100万円)、コンフォート企画株式会社さん（代表：黒田紘登）の「2017年スペイン ロンダ国際コンクール優勝記念 凱旋公演 SIROCO FLAMENCO」(助成金額：40万円)、ALEGRIA さん（代表：島田純子）の「フラメンコ巡礼 Peregrinación」(助成金額：30万円)、東京外国語大学スペイン舞踊部・カンテ研究会さんの「東京外国語大学スペイン舞踊部・カンテ研究会第25回リサイタル」(助成金額10万円)の5作品に決定しました。先に公演を終えられたお三方のご感想を掲載させていただきます。

「東京外国語大学スペイン舞踊部・カンテ研究会第25回リサイタル」 東京外国語大学スペイン舞踊部・カンテ研究会

今回のリサイタルを迎えるにあたり、総勢45人の部員で一丸となってより良い舞台をお届けできるよう、努力を重ねてまいりました。部員のほぼ全員が大学からフラメンコを始めていますが、みな様にフラメンコの奥深さに魅了され、その魅力を更によくの方にお伝えできるよう、日々の練習に励んでいます。

今回の公演では、踊り9演目に加え、カンテ・ギター演目を2つ行い、フラメンコの踊りのみならず、カンテの魅力にもより親しみやすい舞台を目指しました。学生のフラメンコで未熟な点や荒削りな部分は多々ありますが、初めてのお客様にも技術面をカバーするほどの情熱とエネルギーを感じていただけたのではないかと思います。

最後になりますが、今回のリサイタルを迎えるにあたり、多大なご支援をいただきました貴財団にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。



(撮影者：フォトハウス・ネオ 石田 俊通)

「2017年スペイン ロンダ国際コンクール優勝記念 凱旋公演 SIROCO FLAMENCO」 黒田 紘登



(撮影者：安齋 しのぶ)

まだ公演2日目に踊ったソレアが忘れられない。数々の感動と、支えてくれた仲間達と、見に来てくださったお客様へ感謝の思いしかありません。

この半年、この日の事だけを考えて生活していました。長くも短くもありましたが、こんなに夢中になれたのも初めてだった気がします。

いつも、フラメンコが僕に沢山の事を教えてくれます。大事にしないといけない家族や、仲間、またこうやって支えてくださる MARUWA 財団や、サポーターの皆さん…そんな周りのパワーが僕をまた一つ成長させて、大きくしてくれます。僕の人生の教科書がフラメンコである限り、これからも精一杯輝き続けていられたいと思います。本当にありがとうございました。心から…Te quiero mucho.

「フラメンコ巡礼 Peregrinación」

島田 純子

都市部から離れた北陸の地で、第一線で活躍するアルティスタの舞台を目に出る機会は多くなく、一流のフラメンコに触れる機会を作りたいと企画した公演。会場に入ると、静かにたたずむ丸い曼荼羅。遠くから聴こえるバイオリンの音色に旅の始まりを予感し、そこにカンテ、ギター、そして森田志保さんの踊りが加わり、一気にその世界に引き込まれる。それ自体が様々な人や文化と繋がりが続いているフラメンコの長い歴史を物語っているようだった。踊りと音楽そして曼荼羅の作る空間のただ中に居て、フラメンコは果てしなく、深く、そして怖いとさえ感じた。音のひとつ、僅かな動き、聞こえる呼吸、全てに心を揺さぶられた。

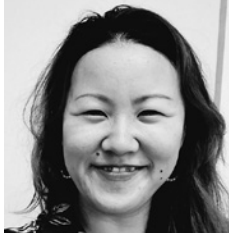
来場者からは「一つのドラマのようだった」、「このような時間、空間を共感でき感動した」等の感想をいただいた。ずっと一緒に旅をしたいと思わせるこの公演を、北陸の地で開催できた様々な縁に感謝したい。



(撮影者：加藤 善雄)

スペイン研修報告

第9回 CAF フラメンコ・コンクールで優勝、及び準優勝に輝き、スペインでの研修を終えた平山奈穂さんとブラシェ小夜音さんより、レポートが届きました。



平山 奈穂

2018年2月より開催されたヘレスフェスティバル、クルシージョ、また巨匠 Javier Latorre クルシージョ参加者による舞台出演を果たすことを今回の一番の目的とし、留学させていただきました。

今回のヘレスは天気が悪悪とのことで、フェスティバル期間中はほぼ嵐のような天候でした。青空の下、スペインの乾いた風を感じながらフラメンコに明け暮れる…そんな理想の生活からかけ離れた中で、今となっては逆に余計なことを考えず集中して学ぶことができたと思います。Maestro Javierの舞台も参加者にしかわからないハードなスケジュールの中、彼の優しさと厳しさに翻弄されながら「披露する」というゴールに向かって仲間と乗り切り、1人ではできないということを実感した舞台だったと思います。その後、セビージャやマドリッドでレッスンを受け、テアトロやタブラオ鑑賞をしました。

今の自分にしか感じることでできないこと、今の自分にしか出会うことでできない人、事、物を信じ、大切に、身の回りの環境、状況に感謝し、フラメンコに限らず、でもやっぱりフラメンコを通して、またひとつ今までの自分にはない経験を積む事ができたと心から思います。この度は大変貴重な機会をいただき本当にありがとうございました。



ブラシェ 小夜音

ヘレスには2ヶ月半、Miguel Angel Herediaに集中的に師事する目的で滞在し、個人レッスンと週3回のグルプレッスンを受けた。個人レッスンでは2曲振付けてもらい、慣れていないパロの練習になった。更に、タバコ等で4回舞台に立つ機会があり、即興で踊ることを経験できた。

セビージャでは3ヶ月間、テクニカを強化するため、Formarteflamencoに通い続けた。1ヶ月目は Juana Amaya のレッスンでタンゴやプレリアのテクニカ、タラント、バンベラを学んだ。2ヶ月目は Angel Atienza のレッスンで回転のテクニカを学び、また Oruco の個人レッスンでパロを1曲振付けてもらった。3ヶ月目は Rafael Campallo のレッスンでタンゴとカーニャを学んだ。

今回の滞在では様々なタイプの踊り手に師事してきたので、踊りの方向性は無限であり、正解はないということを実感した。今後は自分の踊りの特徴を自覚し、好きな踊り方を知り、個性を伸ばしていくと共に、またスペインで研修できる機会があれば、他のタイプの踊り方を学び、より自分の踊りを確立していきたい。

平成31年度 助成事業 募集案内

次年度より、プロ枠と学生枠に分けての募集となります。皆さま、どうぞ奮ってご応募下さい。

■助成対象

2019年4月1日～2020年3月31日までに終了予定のフラメンコやフラメンコ音楽の普及、向上につながるような国内公演、イベント企画で、他機関からの助成を受けていないもの。過去に当財団の助成を受けた場合でもご応募いただけます（プロ枠：総額300万円、学生枠：総額50万円）。

■応募方法

応募用紙に、上記活動の企画、予算、過去の芸術活動状況等を要約して記入の上、台本、或いはプログラム構成、過去の公演の動画DVD（10分間）と共に郵送してください。応募用紙は、当財団のホームページ（<http://www.mwf.or.jp/>）内にある、お問い合わせフォームよりお申込みください。

■応募期間

2019年1月10日～2月8日必着

■選考結果

意欲的で、優れた公演、イベントの企画に対して、財団の選考委員による厳正なる審査結果を2019年3月31日までに、各団体宛に通知致します。尚、助成金支給は公演終了後1ヶ月以内の報告書、写真、印刷物等の提出により実施されます。

■お問い合わせ先

公益財団法人スペイン舞踊振興 MARUWA 財団
〒105-0014 東京都港区芝3-16-13
MARUWA ビル2階
Tel.03-5419-6513 / Fax.03-5419-6514
E-mail info@mwf.or.jp
URL <http://www.mwf.or.jp/>